

広報 きたうら

発行・編集 北浦村役場 ☎311-17 行方郡北浦村山田2564-10 ☎0291(5)2111

No. 304
平成4年2・3月号

合唱器楽演奏会



歌謡大会



民舞舞踊大会



見事な演技が続々と...
——第19回芸術祭——

February

March

2.3

- ☐ 村づくり懇談会 P2~4
- ☐ 廃棄物の持込みを禁止します P5
- ☐ 知事を囲むつどい P6~7
- ☐ ドイツ研修記 P8~9
- ☐ 子育て日記 P10
- ☐ スポーツNews P11
- ☐ ふるさとの歴史 P12~13
- ☐ トピックス ☐ シリーズ国保

2月5日から11日にかけて津澄第一公民館において、『第19回北浦村芸術祭』が開催されました。

期間中、会場には幼稚園児からお年寄りまでが丹念に手がけた、絵画や手工芸、書道、写真などがいっぱい飾られました。

また、大集会室では連日のいろいろな大会や、映画会、福祉バザーなどが開催されました。特に最終日に行われた吟詠剣詩舞大会では会の最後に餅をまくなど、会場につめかけたたくさんの方のみなさんを喜ばせていました。

村活性化を望む多くの声

商工青年・婦人・農業青年・高齢者の方それぞれに意見を聞きました

魅力ある村づくり懇談会



村では様々な課題の中、21世紀初頭を目標とした村づくり方針・構想の策定を目的として、昨年10月・11月に村内11ヵ所にわたってご意見をお聞きしました。

しかし、青年・高齢者・婦人の参加が少なかったため、今回これらの方々のご意見をお聞きしようと、年代をしばって懇談会を開催しました。

懇談会では、これからの村づくりは農業もやはり重要であるが、若者の定着や村の活性化のため住宅地の開発を含めて、バランス良く進めてほしいという意見が多くいただきました。特に工業開発については推進を望む声が多いようです。

このことは、村民が秩序ある土地利用の転換により、産業構造の転換を望みつつも、現在の恵まれた環境を守る村づくりを望んでいるかと考えられます。

村活性化

Q—今までの構造を転換し、財政力をつける必要がある。
Q—村から出ていった人の意見を聞いてはどうか。
Q—個人が主体でなければ、魅力ある村づくりにはならない。
Q—若者が定着し、人口増加が図られる、具体的な施策を示してほしい。
Q—第一次、第二次産業の転換、財政を高める方法が具体的にない。
Q—とにかく働く場所がない。若者に定着してもらうために

も、企業の誘致が必要。そうすれば、財政力の強化にもつながる。
Q—前向きで、工業・住宅開発を進めてほしい。
Q—産業の活性化（特に工業団地誘致）の予定はあるのですか。

Q—北浦の自然を生かした、創生事業をお願いしたい。
Q—人を呼ぶには、何か大きな施設がないとだめだと思います。目玉になるようなものをつくってほしい。
Q—村でアンケートを行ったようですから、その結果に沿った形で進めていったいただきたい。そうすれば地域の人も頑張ってくると思います。行政側のバックアップに期待したい。

Q—一人当たりの所得が県平均よりかなり低いようです。土浦大洋線や高速道路等で産業もかなり発達してくると思います。私は農業をやっていますが、このまま農業を進めていては、県平均の七十万円の格差がもつてくるでしょう。農業を減らすというのではなく、バランスよく工業も取り入れてほしい。

A—本村は、昭和六十一年に北浦村新総合計画を策定し、「ふれあいと活力に満ちたふるさと・北浦」の実現を目標に諸政策を進め、住みよい村づくりに努力してきました。平成三年六月一日、都市計画区域の指定を受け、平成三年度に市街地整備基本構想において、本村の村づくりの基本方針や土地利用のあり方をまとめているところであります。平成四年度は、基本構想を受けて市街地整備基本計画の策定を予定しています。

しかしながら、今回の魅力ある村づくり懇談会に見られるように、村づくりは、二十世紀に向けて新たな村づくりを求められています。特に本村においては、土浦大洋線の国道昇格予定や東関東水戸線の計画など幹線道路の整備が進むなか、発展ポテンシャルの高い、鹿島・つくば・常陸那珂という拠点地域のどこからでも三十キロメートル程の距離にあります。これらの地域特性を生かし、秩序ある土地利用の転換により産業構造の転換を図り、今後活力ある村づくりを図っていく必要があります。

Q—大津村には、ミニ別荘が増えているが、北浦村でも受け入れるつもりですか。
A—北浦村においては、昭和五十七年に宅地開発条例を制定し、千五百平方メートル以上の宅地開発については規制をしています。このなかで宅地面積については一区画五百平方メートルで指導しています。このようにミニ宅地・ミニ開発によるミニ別荘については受入れていません。また、平成三年六月一日以降は都市計画区域指定により、良好な住宅建設のため建築確認を受けなければ、住宅（建築物）は建てられません。
Q—土採取作業が朝四時ごろから行われている。土地の有者と事業者にまかせるとは、地域活性化のためには必要かと考えられますので推進していきいます。

乱開発

く必要があります。このため、これら二十一世紀に向けた村づくりの核として複合開発を検討するため、平成四年度予算案に調査費を計上したところです。

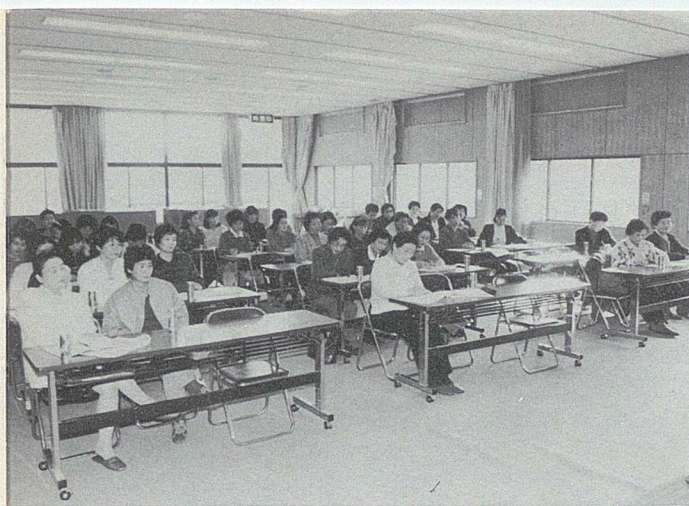
道路

Q—北浦村の道路の普及がかなり遅れている。すべての基本は道路であるので、早急な整備が必要だ。
Q—村には国道が通っていません。国道は地域発達に大きな影響があります。高速道路では、もし北浦を走るとしますと、インター等で土地がつぶされる心配があります。国道ではその心配がないので、高速道路より国道に力をいれてほしい。

A—指摘されるように、道路の整備を急ぎます。国道昇格や高速道路インターについては、地域活性化のためには必要かと考えられますので推進していきいます。

農業

Q—農業就業者が少なくなってきた現在、村では今後も農



業を基盤としてやっていくのか。これから道路などの整備が図られるようですので、そうすれば自然に人も企業も入ってくると思いますし、若者の定着も図られると思いますので、確かに農業は大事ですが、企業の誘致もやってほしい。

Q―農業者はこれからどんどん減ってくるのは、目に見えています。今後も農業を進めて行く考えならば、外国（アジア）からの労働力をどんどん取り入れていかなければならないのでは。

A―北浦村の現状を見ると、

産業としては農業が中心で、これといった産業がない現状であります。今後、北浦村の振興を図っていくうえでは、農業だけでは難しい現状です。農業以外の新しい産業の導入を図って、個人レベルでも村レベルでもしっかりと生活基盤を確立していくことが村の課題となっています。外国からの労働力については研究させていただきます。

Q―今、村では出荷組合もバラバラですし、銚田等から比べても農業収入がかなり低い現状です。このような懇談会も大切ですが、どんな実行に移していかなければなりません。村では農業所得をアップさせるのにどのような考えをもっていますか。

A―農産物の市場対応については、バラバラでは市場競争力が弱まりますので一元化に努力いたします。農業所得向上のためには、経営の近代化・基盤整備・営農類型の確立等が考えられます。

商 業

Q―商業のパターンも変えていく必要がある。現状のライ

フスタイルにあった転換が必要だ。

Q―消費者の七十五％が村外にいて、その認識が必要だ。

A―マイカーによるショッピングが主流となりつつあるなかで、買物行動はますます広域化と流動化が進んでいます。ライフスタイルの多様化も買物行動に大きな変化をもたらしていると考えられます。

七十五％以上の消費が対外に流出している本村の現状を見ると、村づくりの中に商業を位置づけ、商業振興を図っていかなければならないと痛感しています。

観 光

Q―役場の回りが開発されています。北浦（湖）を利用して何かできないでしょうか。

Q―北浦における観光開発の予定は村ではあるのか？

Q―北浦は水と緑があつて、温暖で住みやすい場所なのに、観光というのがないのはおかしい。

A―当面、北浦（湖）の観光開発は考えておりませんが、皆さんご意見を参考に検討

させていただきます。

高齢者福祉

Q―北浦は湖に面した景色のよい、住みやすい所です。この湖を生かして進めていけばよいと思います。北浦荘も湖岸に接していますので、この施設をもつと利用できる、または利用していただくような策を講じてほしい。

Q―これからの高齢化に向けて、自分たちが今まで培ってきたものを発揮できるような生きがい対策がほしい。

Q―福祉の団体の育成に力を入れてほしい。

A―北浦荘については、指摘のようにさらに利用しやすい、利用していただくような施設として努力していきます。高齢者の生きがい対策は緊急な問題ですので、福祉・生涯学習など各方面からその施策を講じます。さらに、福祉を担うのはマンパワーですのでこれらの育成を図ります。

婦 人

Q―働く婦人に、研修の場・学習の場等を設け積極的に参加できるように働きかけてほしい。

北浦村
は

廃棄物もちこみ 反対宣言をしました

北浦村は二月、廃棄物のもちこみに対する反対宣言をしました。

これは廃棄物の不法投棄が、道路の整備により村内各所に発生しているため、これらに對し強い姿勢であたるためです。

安易に自分の土地だからといって甘い誘いに乗り、不法投棄されないよう所有者として、日頃から適正な管理に心がけましょう。

宣 言

北浦村は、地下水を汚染し、村の自然環境を破壊する恐れのある廃棄物の、村外からの持ち込みを反対することにより、村の住みよい環境と緑を守り、快適で、健康な村づくりにつとめることを宣言する。

平成4年2月

北浦村長 磯山伸知

廃棄物のもちこみは 認めません



知事を囲むどい

石上雅崇さんが質問



質問をする石上さん

県鹿行地方総合事務所主催の「知事を囲むどい」が二月十九日、鹿行北部地方の代表者が出席し、鉾田町で開催されました。

このつどいは、知事と住民が地域の課題について自由に話し合い、意見や要望を県政に反映させようというものです。

当日、県知事が「鹿行北部地方を中心として」と題して、鹿島・行方地方の県政の方向づけをした後、出席者と質疑応答が行われました。

北浦村からは、石上雅崇さんが「行方の地域開発」について質問をいたしました。

北浦村の石上と申します。今回はまちづくりについての関心を中心に質問したいと思っています。

まず、行方地域の開発構想についてですが、今でも北浦を含めた行方地域は、北浦・霞ヶ浦という湖に囲まれて、産業は農業が中心であり、おやけの交通機関も乏しく、ある意味で取り残されているという部分があり、鹿島やつくばを中心とするプロジェクトを作るといった中で、特に陸の孤島のようなイメージが定着しつつあるわけですが、現在の県全体の構想の中で、行方地域がどういう位置付けをされているのかということ

と、将来的にはこの地域がどんな地域になっていくか、県ではどんなイメージが描けるかということが、全体的な質問になります。

具体的部分として、県としての行方地域を対象としての開発の構想はあるのかということが一つです。その場合行方を中心とした、その地域だけの開発なのか、それとも周辺に対応した形にするか、ということをお考えなのか。その

うなってきた場合には、現在の農業を中心とした産業上のシフトをある程度変化させるようなこともお考えなのかということですか。

そういう全体的な変化の中で、行方地域を県ではどんなことに期待しているのかということが一つです。

それと、まちづくりというところで考えていきますと、それらの開発の方向できたときに、県の方としては行方という地域がどういう地域になっていくか、そこで生活する住民のライフスタイルというもの、大体こうなるではないかというものをもちでし

茨城県知事答弁

具体的に、北浦村あたりをどうしようかというのはまだありません。ただ間違いはないことは、今度潮来まで来ている東関東自動車道と、北関東自動車道とつなげようということ、これは法律に載っている路線ですのでいつかは出るわけですが、いろんな事情がありまして南から出来てくればよかったわけですが、北から下りてくるような形で、

水戸から鉾田間の高速道路が基本計画に載りました。ですからいつくるかは分かりませんが、必ず行方郡に高速道路がきます。

また、土浦大洋線も重視しております。国の方でも非常に重要な路線になっていきますので、早く良くしていこうと考えております。

■県央・鹿行振興課長答申
まず行方地域を県がどうイ

メージしているかという点ですが、ここは今まで農業中心で自然に恵まれた地域ということでありますが、これから周辺の開発も考えながら、新しい産業を入れていきたいという考え方をしております。

それで、イメージといったしましては、新しい産業を集積して人と物と情報の国際的な交流拠点を形成していきたい。

そして、地域の人が豊かに生き、「住んでよかった」「ここにきてよかった」というような地域づくりをしていきたいと考えております。

これについて私も是非お願いしたいのは、この地域ではこうしたより良くなる、というものを一緒に考えていっていただければと思っています。

また、開発単位は行方だけか、というご質問ですが、これについては、成田や鹿島それから筑波研究学園都市・東京というのを見つ、交通体系なども考慮して、それに合わせて開発を進めていく必要があるのではないかと考えております。

それから、産業的にどんな機能を期待しているのかという点ですが、それは今までの工業だけでなく、新しい産業、鹿島も公共埠頭ができまして、かなり東京の荷物が鹿島に上がってきている状況ですので、そういう流通関係の物資を保管するとか、これを動かすとかいうものとか、現在、鹿島にある約三千ヘクタールの工業団地では、

答弁をする竹内知事



もう足りなくなってきたというので、そういうものの受け皿とか、もっと自然の多い所で仕事をしたという人が東京方面には多いと思いますので、そのための施設などを考えております。

また、住民の生活がどう変わるかというのは、今まで陸の孤島といわれているという点ですが、前の知事の時とは利根川があったから茨城県は発展が途絶えたと言っておりましたが、昭和五十年以降、竹内知事になってからは、それがあつたからスプロール化しなくてすみ、これからのいいまちづくりが展開できるとい

うことで、現在進んでいるわけですが、是非、みなさんも陸の孤島をうまく誘導して、いいまちづくりをしていただきたいと思います。ですから新しいものがきて困るというのではなく、それをうまく取り入れて交流していっていただければ、私どもとしても大変ありがたいと思っています。

日時：2月19日 午後1時30分
場所：鉾田町「さわや」
村内参加者
河野三男氏 斎藤ヨシノ氏
石上雅崇氏 斎藤一男氏
関川ヒデ子氏 米澤精一氏
郡司年子氏 河野浩明氏

▲知事を囲むでの記念写真



ドイツ研修記

4

ウィルゲス四日目、午前中に研修を行うことも可能でしたが、これまでの日程がかなりきつかったこと、また、ドイツは初めてという団員が多いことを考慮して、「せっかくドイツへ来て研修ばかりでは残念ですから、ドイツの観光も手配しましょうか」というアルツバッハ氏の配慮に感謝しつつ、私たちは早朝にウィルゲスを出発、バスでヴィルゲスの西にある都市コブレントツへ向かいました。バスはミューラー嬢が同乗、運転手のユンク氏による観光ガイドを聞きながら、ライン湖畔までのドライブを楽しみました。コブレントツの船着場でミューラー嬢とユンク氏にこれまでお世話になった感謝を述べ、別れのあいさつを交わした一行は船に乗り込みました。これから五時間余り、団員にとっては唯一の観光ともいえるラインの船旅です。

天候にも恵まれた絶好のコンディションの中、研修の緊張から開放されてヨーロッパの雰囲気にひたる者、船外の風景に目をやりながらこれまでの研修の感想を語り合う者、そして少しずつ変化する街並みや景色を楽しむ者、一行はそれぞれに、ドイツ旅行の定番コースといえるライン下り（実際は上りになります）を満喫していました。

午後三時頃、観光客でわかえるリューデスハイムに着。ここでしばらく街を観光する予定でしたが、船が遅れたこともあって予定を切り上げ、タクシーに分乗した一行は、マインツ駅へと向かいました。ここからは、最後の研修目的地であるケルンへ列車の旅になります。

列車は午後六時半頃、日も暮れたケルンに到着。市内で夕食を済ませた一行は、さらにタクシーで宿泊先のケルン郊外にあるベルクハイム＝フリーシュテデーデンのドレーアー氏宅へと向かいました。実はケルンでの宿泊は市内のホテルを予定していたのですが、ちょうどこの時期に大きな見



ケルンでのホームステイ

翌朝は朝食後早々にドレーアー氏宅を出発、ケルンへ向かいました。予定のプログラムは午後からでしたので、午前中はフリー・タイムと決めて各自自由行動を取ることになりました。ドームや博物館ととりあえず見学するものには不自由しないケルンでしたが、ドイツではむしろ地方の街のほうに趣があるのではないかと、団員の素直な感想でした。

一行は十二時半頃駅前に集合、チャーターしてあったマイクロバスで最後の研修とな

本市がかさなり、ほとんどのホテルが満室という状況でした。そこでホテルの予約をお願いしてあったドレーアー氏の好意で、全員がドレーアー氏宅に宿泊させて頂くことになりました。ケルン教育大学の障害児教育の教授であるドレーアー氏は、かつて日本の大学で教鞭をとっていらっしやうたことがあり、夫人の京子さんは沖縄生まれの方です。知り合いの団員の一人が、ホテルの予約などをお願いしてあった訳です。今回の研修にはホームステイのプログラムはなく、お嬢さんの二人いるドレーアー氏のお宅ならば、典型的とはいえないまでもドイツの家庭の様子を知る機会でもあるので、ご厚意に甘えることにしました。団員にとつては、何よりドイツ語にわずらわれないですむことが魅力であつたかもしれませぬ。しかし妙なタイミングといつたらよいのでしょうか、ドレーアー氏自身はこの時期日本へ講演に出掛け留守でした。私たちがこちらへ到着したのは夜の十時前でしたが、色々な話題に花が咲いた夜でした。

ありました。ケルンの視察に向かいました。クラインガルテンとは、ドイツの大都市部における自然的環境の減少に對してそれを補うべく実施されているシステムで、おおやけの大規模家庭菜園ゾーンともいえるものです。大都市の行政体はその地域内に用地を確保、各区画約百坪位の菜園群を整備し、希望する住民に貸し出しています。都市型自然環境整備を兼ねた土地利用の、海外における一形態です。ドレーアー氏の紹介で私たちの案内をして下さったのは、この地域のクラインガルテン協会の会長をしていらつしやるギンター氏でした。あいにく午後から雨の降り出す悪天候でしたが、ギンター氏は三時間近くにもわたって精力的に動き回り、多くの情報を提供して下さいました。何より驚かされたのは、渴望と表現してもいいほどの、ドイツ人の自然に対する執着で、日本人の美德としてしばしば挙げられる自然愛好とはいいたい何であるのか考えざるを得ませんでした。



クラインガルテンの視察

ボランティア活動で バラ賞を受賞

麻生地区安協北浦支部

昭和四十五年から交通事故防止運動に取り組んでいる当支部（斎藤四郎支部長・六十六名）は、会員各自が道具を持ちよりカーブミラーや交通標識の清掃を行い、道路環境の整備に努めるとともに、村内祭礼のときなど交通整備に各役員がボランティア精神で活動しています。

特に交通弱者といわれるお年寄りや子供たちに対す

この度、麻生警察署管内で初のミニパトカーが、両宿駐在所に配備されました。今後、地域の交通事故の防止、また、安心して生活できる防犯対策にも大いに役立つと考えています。

パトカーは初仕事として一月十五日の村内駅伝大会に参加し、選手たちが安全に走れるようにと、村内を巡回しました。



ミニ・パトカー

麻生署管内で初のミニパト配備 両宿駐在所



北浦支部のみなさん

る交通事故防止に関しては、特に力を注いでいます。こうした活動が認められ、昨年十二月、豊かな郷土づくりやコミュニティづくりに活躍している団体に県知事より贈られるほう賞「ばら賞」に輝きました。今後とも地域の交通安全活動に期待いたします。

とびくす

快挙！第23回日展

「かな」の部に見事入選

真家栄子さん（繁昌）

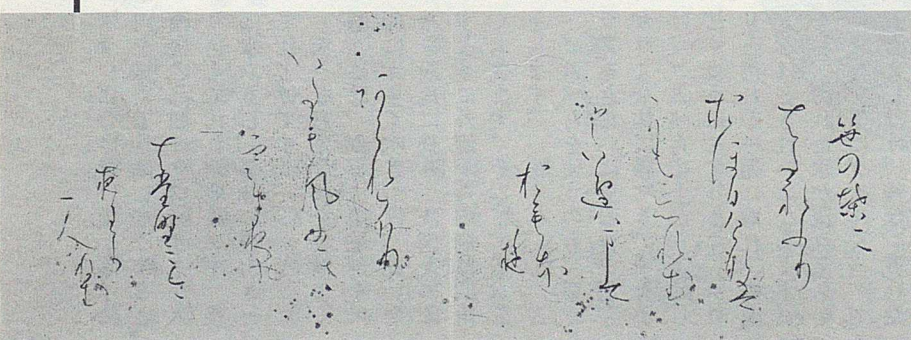
第二十三回日展第五科書（かな）の部に真家栄子さん（繁昌）が見事入選されました。

日展は芸術最高峰の展覧会で、入選は最大の難関とされています。今回の出品数は八千七百四十五点で、入選者七百五十点（内新入選百三十九点）、中でも「かな」は新入選者四十五人とのことでした。

真家さんは、大東文化大を卒業後、高校教諭となり書の道に進み、昭和五十六年読書法展入選、平成元年・二年と秀逸賞受賞、平成三年には特選賞に輝き、今回の受賞となりました。



真家さん



現在は清水透石氏に師事し、藍笥会の理事を務めています。入選作は優雅な「かな」の世界に、見る人の心を引きつけて離しません。この快挙を祝福し、今後ますますのご精進を期待します。



子育て日記 お母さんにしか できないこと

でもないでしよう。でも子どもは、たったひとりいいから自分を「世界一の子」と思ってくれる人が必要なのです。そのいい子に答えて「もったいい子になろう」と頑張るのです。

お母さんは、その「たったひとりの子」になってあげて下さい。子どもの欠点は十分知っているが、自分には世界一ステキな子が授かった」と思っているお母さんこそ、子どもにとっても「世界一のお母さん」なのです。

わが子に厳しい 体験をさせよう

たとえば、道でころんで泣いている子がいたとします。他人だったらすぐ駆け寄って「どうしたの、泣かないでね。お家はどこ？」と、ひぎの泥をはらって涙をふいてやるでしょう。それでいいのです。もともと他人は冷たい存在であり、逆に誰にでも暖かく親切にと心がけなければなりません。

いい顔ばかり してはダメ！

人間が成長するには、幸せで快適な体験ばかりでなく、つらい思い、悲しい体験、いやな体験などがある程度必要です。ほしい物があっても我慢させる、悪いことをしたらきつく叱る、嫌いな食べ物でも食卓に、悪いウソはおしりをたたくなど、子どもの成長のためには必要です。子どもにいい顔だけをしようとしてはいけません。『お母さん、強い心で、信念を持って子育て下さい』

スポーツ News

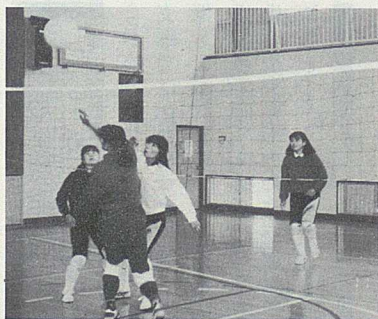
ソフトバレー

北高岡A が優勝

普及大会



二月十一日、三和小学校体育館でソフトバレー普及大会が開催され、十二チームの参加でブロックリーグ・決勝トーナメント戦を行いました。今回の大会では、前回と違い男女を分けて行い、またアタックを認めるなどで、今までよりハードな動きが必要となり、選手のみならず速



いボールの動きに集中しながらプレーしていました。結果は次のとおりです。

優勝 北高岡Aチーム
準優勝 三和PTAチーム
第三位 ブルーベルチーム
第三位 南高岡Bチーム

■高校・一般男子の部(七km)

- 優勝 大河 州二
準優勝 田崎 博文
第三位 河野 正男
第四位 武田 吉正
第五位 大和田昭吉
第六位 河野 俊雄
第九回サッカースポーツ少年団交流大会

一月二十六日(日)

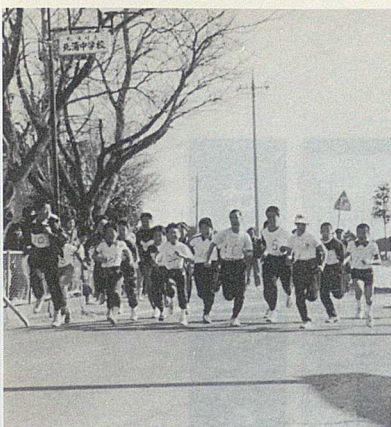
- 優勝 舟石川小(東海村)
準優勝 現原小(玉造町)
第三位 武田小(北浦村)
第三位 太田小(麻生町)

各種大会の結果

第十五回村内マラソン大会

二月二十三日(日)

- 小学生男子の部(二km)
優勝 椎名 貴彦
準優勝 稲田 勝敏
第三位 鈴木 俊介



▲ スタート

- 小学生女子の部(二km)
優勝 掛田 早苗
準優勝 高橋 美加
第三位 堀 ミカ
第四位 馬場智枝己
第五位 堀 早織
第六位 小嶋 由香
- 中学生男子の部(五km)
優勝 掛田 勇
準優勝 堀 早織
第三位 堀 早織
- 女子の部(五km)
優勝 根本 光江

暮らしの ポイント

窓ガラスの掃除

きれいに磨かれた窓ガラスは、気持ちいいものです。しかし、いざガラスふきとなると、意外に重労働です。手際よく、要領よくふくことがポイントです。窓ガラスの水ぶきは、水を少し含ませた湿りぞうきんでふきます。水の跡が残らず、きれいにふけます。油污は、ガラス用の洗剤をスプレーし、その上から料理用のラップを十分間程度張ります。ラップをはがして乾いた布でふけば、油が洗剤でゆるんでいくので、簡単に汚れが落ちます。ラップの代わりにティッシュなどの紙を使うと、ガラスに張りつき、はがすのが大変です。窓ガラスの隅の隅は、水に濡らした布に塩をつけてこすりましょう。塩が汚れを吸収する働きを利用したもので、汚れが簡単に取れます。

ブラシにつけて、上から下に円を描くようにしてこすると、模様様の凸凹にクレンザーが入り込んで汚れが取れます。後は水ぶきし、さらに空ぶきして仕上げです。

大きな窓ガラスを要領よく磨くには、ガラス用洗剤を×印に大きく吹きつけ、乾いた布を四角に畳み、洗剤をのばすように外側から内側に四角くふきます。そして、空ぶきをします。

ゴムべらを使うのも、窓ガラスをきれいにするコツ……ガラス全体に霧吹きで水をかけ、ゴムべらで上から下へし、ごくようにこすり取ります。ホコリと汚れが一掃に取れ、見違えるほどきれいになります。なお、汚れた水が流れ落ちないよう、下にタオルを当てておきましょう。後は、乾いた布で磨きます。



2歳4ヶ月と8ヶ月になる兄弟です。まだ病気にしたこともなく、私と一緒にマラソンや砂遊びをして遊んでいます。元気だけがとりえですので、このまま病気にせず元気に育ってくれればいいと思います。(お兄ちゃんはいパイロットになりたいみたいです)

のびのび きたうら

高野 三千春選

嫁がせて一人花冷え背負込む
抜歯して口中重き菜種梅雨
点滴のかすかな音に山笑う
日脚伸ぶ所用の妻もまだらしく
まだ奥に子育地蔵花前線
花前線氣をもましつづつ北上す
青蛙葉よりも軽ろき身の構え
列島の人しやべりだす花前線
これだけは言わねならぬ春炬燵
見上げれば木鶏になりて桜前線
花さじき貧しき心忘れたり
春眠の夢の中にも小鳥なく
シャボン玉子供が子供つれて来て

- 松本 玉江
土子 文江
高野 敬子
関川 やすし
本戸 さく子
東野 サカエ
羽生 まき
藤原 静子
石上 ちか子
飯島 秀子
仲居 いみ子
寺内 理枝
高野 都代



中高年齢労働者 受講奨励金制度

働きながら高校
を卒業できます

NHK学園の
通信教育で勉強を

リウマチ教室を
開催します

ふるさとの
歴史

—ほこり高い『常総の武家』—

21世紀をリード
する熟年パワー

などを自動車の燃料として使

ゴルフ場農薬使用状況を公開します

■ 日 時 平成4年5月11日(月)～16日(土)
 午前9時～午後5時
 (ただし16日は12時まで)
■ 場 所 北浦村役場生活環境課(2階)

中でも激烈なのは結城合戦である。その発端は足利持氏と上杉憲実（のりざね）の争いだったが、結城氏朝（うだつとも）は幕府に殺された持氏の遺児を迎えて鎌倉と対立し討死し結城合戦も終わった。ところが伝統を求める関東の諸大名は上杉に対して不信を抱き、生きている持氏の子足利成氏（なりうじ）を関東管領にした。康正（こうしよ）元年（一四五五）に敗れて古河に移り古河公房と呼ばれた。

行方郡地方にも時勢の流れるままに武家の台頭となり、早くから常陸大掾氏の子孫行方宗幹の四子小高太郎・島崎次郎・麻生三郎・玉造四郎を祖として十一世紀より四百年間、歴代郡下に彩配を取った。しかし、天正十九年（一五九一）これらの豪族をはじめ武田・相賀……等の諸豪も佐竹に追隨し、慶長六年（一六〇一）佐竹氏秋田に移封になるまで、この郡は佐竹一色に徹していった。

4月のカレンダー～

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	1	2

4日 清 明
6日 春の全国交通安全運動
7日 世界保健デー
10日 婦人週間
20日 穀 雨
29日 みどりの日



シリーズ国保 子供の食生活

「子どもの成人病予備軍が増えている」といわれます。困ったことにこれは事実で、成人病の発病は今後いっそう早まるのではないかと予想されます。子どもも大人も食生活の基本は同じ。成人病の予防は子どものときから、と考えなくてはなりません。栄養のバランスを考え、偏食をなくし、大人と同様の気配りが必要です。あなたのお子さんの食生活は今、どんな状態でしょうか。

【子どもの食生活チェック】

■下記の項目を読み、「はい」なら○を□に書き込みましょう。

1. 牛乳を毎日飲んでいますか ☐
2. 野菜や海藻を毎日食べていますか ☐
3. ハンバーグだけでなく、固い肉も食べていますか。 ☐
4. 魚が好きですか ☐
5. お菓子を袋ごと与えていませんか ☐
6. ジュースやアイスクリームを食べ過ぎていませんか。 ☐
7. インスタント食品ばかり食べていませんか ☐
8. 食事時間を決めて食べていますか ☐
9. 食事は一人でなく家族皆で食べていますか ☐
10. 単品料理ばかりでなく、ご飯とおかず（主食・主菜・副菜）をきちんとそろえていますか ☐

【診断】■○の数を足しましょう

○が8個以上…たいへんよいでしょう
○が6～7個…もう一息です
○が5個以下…もう一度○のつかない項目を見直しましょう

★良い食習慣を作るポイント

- 各栄養素のチェックをしましょう。ほかには良く物をかんで食べることも大切なポイント。偏食をなくすためにも、家族そろった食事が大切です。
- 砂糖を取り過ぎないようにお菓子、嗜好飲料は控えめにしましょう。
- 骨の成長に欠かせないカルシウムを充分に取りましょう。
- 偏食を避けて、栄養のバランスのとれた食生活を。
- 子どもが一人で食事をするのしないよう家族皆で食事を。

日	曜	行 事	場 所	備 考
6	月	村内小学校・中学校入学式		
13	月	母 子 保 健 教 室	母子センター	PM1:00～1:30
14	火	ツベルクリン反応検査	母子センター	PM1:30～2:30
15	水	1 歳 6 ヶ 月 児 検 診	母子センター	PM1:00～1:30
16	木	ツベルクリン反応判定 及 び B C G 接 種	母子センター	PM1:30～2:30
20	月	育 児 相 談	母子センター	PM1:30～2:30
21	火	献 血	津 澄 第 一 公 民 館	AM9:30～3:30
24	金	一 般 健 健 相 談	母子センター	PM1:30～2:30

参議院茨城県選出議員補欠選挙

●告示日3月25日

●投票日4月12日

—— 人口の動き —— 住民基本台帳調(1月末)

人 口	11,051
男	5,495
女	5,556
世帯数	2,500
転 入	21
転 出	29
出 生	12
死 亡	14

先日、群馬へ一泊でスキーに行ってきました。二日間ともすごい吹雪でがっかりしながらも、前が見えない状態で下手な私は悪戦苦闘してきました。(早くうまくなりた〜！)
帰り道、私と同じ車の人が側溝に落ちていました。ケガもないようでしたので、ホッとひと安心してその横を通り過ぎながら、いっこうに減らない交通事故が、どんな防止策をとればなくなるのか、車を見ながらふと考えました。

あとがき

津澄第一公民館へ
○寄贈図書
「風神の門」他百九十九冊
千葉県柏市富里二一―三七
三上 靖彦さん

善 意